

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第36号



今年の夏は本当に厳しい暑さでした。外出する時間を考えないと本当に「命」の危険すら感じることもあり、ひとこらに比べだいぶ涼しくなったとはいえ、まだまだ厳しい残暑が待っています。水分補給など、体調管理にはお互いに気をつけてまいりましょう。

東海道南品川3丁目地区で「旧東海道南品川3丁目地区」の街並み作りが、今年4月に、画を策定して、書を提出し、それ

地区計画は南品川3丁目内の旧東海道沿い両側20Mの範囲に適用。区域としては狭い地域です。今回「会」が要請提出にあたって集めた賛同署名は110名。210名の権利者（土地所有者・借地権者）のうち55%でした。これを多いか少ないかとするかは判断が分かれるところです。しかし他地区でもこれからの街並みづくりを考える場合、この住民発意型の地区計画策定の手法は、研究の余地があります。更に調査し続報したいと思います。

建物の「高さ制限」含む地区計画、住民の発意で策定が可能

建物の高さや形態・色彩の制限を定める

北品川・南品川などのいわゆる旧東海道地区では古くから街並み作りの気運が高まっています。そのうち南品川三丁目地区で「旧東海道南品川3丁目地区」の街並み作りが、今年4月に、画を策定して、書を提出し、それ

「住民発意型」どこまで活用できるか

地区計画は南品川3丁目内の旧東海道沿い両側20Mの範囲に適用。区域としては狭い地域です。今回「会」が要請提出にあたって集めた賛同署名は110名。210名の権利者（土地所有者・借地権者）のうち55%でした。これを多いか少ないかとするかは判断が分かれるところです。しかし他地区でもこれからの街並みづくりを考える場合、この住民発意型の地区計画策定の手法は、研究の余地があります。更に調査し続報したいと思います。

南品川三丁目地区で、旧東海道の面影を伝える環境と調和した街づくりを目指し建築物の高さ制限などを定める地区計画の策定が進んでいます。区民委員会と街づくり特別委員会で報告がありました。

大崎や五反田、北品川地域の街並みが急速に変化しています。「都市再生」などの規制緩和により、これまでに比べ高層の建築物が、より簡易な手続きで建てられるようになったためです。

を受けて区は「街並み誘導型」の地区計画案を作成しました。具体的な内容は、建物の高さの最高限度を13Mとする

日照・風害被害、「補助金」名目の莫大な税金投入など問題が多い「まちづくり」手法ですが、とりわけ古くからの住民にとっての街への思いにそぐったものにならない手続きの問題、景観との兼ね合いの問題も大きいものがあります。

後退させる 建物の形態・色彩・意匠等は街並みに配慮したものと

などです。区は権利者や住民へのアンケートの実施、説明会の開催や公告・縦覧、十月下旬開催予定の品川区都市計画審議会の決定を経て、最終的に条例を改正し実効性を担保する、としています。

などです。区は権利者や住民へのアンケートの実施、説明会の開催や公告・縦覧、十月下旬開催予定の品川区都市計画審議会の決定を経て、最終的に条例を改正し実効性を担保する、としています。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。